

Aomori Port Office Mail Magazine — Vol.1

~Summer~

■本州最北端の地で繰り広げられる国内最大級の“火まつり”「青森ねぶた祭」

「ラッセラー！ ラッセラー！」の掛け声も勇ましく、日本の火まつり「青森ねぶた祭」は今年も8月2日から7日までの6日間、青森市で開催されました。青森市は東北地方に位置しますが、青森港も含め東日本大震災の被害は全くありませんでした。今年の祭りは例年の盛り上がりに加え、関係者の被災地を思う意気込みを感じさせるものでした。

ねぶたは大きな人形の灯籠（とうろう）をつくり、夜の街を太鼓や笛などの囃子（はやし）に合わせて練り歩く夏祭り。その灯籠は巨大で、大型ねぶたでは、幅9m、奥行き7m、高さ5m、重さは4tにも達します。人形の題材もサムライや歌舞伎などに題材をとった勇ましいものが多く、極彩色（ごくさいしき）に彩られ迫力満点です。

毎年巨大ねぶたは22台出陣しており、今年も市内の中心街に設定された運行コースで勇壮な姿を大勢の観光客に披露しました。



■威勢よく“ハネト”が乱舞（らんぶ）し、「がんばろう東北」ムード盛り上がる

祭りに欠かせないのは、ねぶた運行に加わる「跳人（ハネト）」と呼ばれる踊り手たち。浴衣（ゆかた）にタスキがけのハネトは、一人ひとりが「ラッセラー」の掛け声とともに大きなステップで飛び跳ねます。

ハネトは、衣装にいくつもの鈴をつけているので、何百人、何千人のハネトが一斉に乱舞すると鈴の音が響き渡り、祭りムードも一気に盛り上がりました。今年の祭りではねぶたやハネトの飛び跳ねに「がんばろう東北」など、震災復興を願う言葉や威勢の良さが目立ちました。大勢の観光客は祭りに満足し、来年もまた祭りを見られることを楽しみにしています。



■観光の大きな楽しみ“グルメ” 青森だからこそ味わいたい新鮮・極上ネタの“寿司”

青森の7、8月は、夏の観光シーズンです。自然の景勝地や温泉など、自慢の観光スポットは青森港からバスで行くことができます。

観光の大きな楽しみと言えば“グルメ”。青森県は三方を太平洋、日本海、陸奥湾に囲まれた新鮮魚介の宝庫です。そこでオススメしたいのが、この海の幸をネタにした寿司。県内の多くの寿司店では、身が引き締まることで美味しいと有名な“大間のマグロ”はもちろん、ホタテ、アワビ、ホッキガイ、ヒラメ、イカといった旬の地物魚介を使った“極上の寿司”を提供しています。青森にお越しの際は、この鮮度抜群の“いちおしグルメ”を是非とも味わってみてください。

